

**Q** 国の三位一体改革により、地方に税源が移譲され税源の多い地方ほど豊かな生活が可能となります。自立した地方が求められ自主財源を確保することが緊急かつ重要なことと思

います。自主財源を掘り起こし財政の健全化を図るために地域振興を図る必要があります。①地域振興についての考え方②行政の役割は③具体的な振興策はあるか④懸念される問題があれば何か、4点について市長の考えを聞きたい。

**A** 市長 ①あらゆる地域振興において山武市の持つ魅力を発揮させ民間活力を期待し大変厳しいことと認識しながら取り組んでいく。②企業の誘致や観光客の誘導など民間活力に期待しつつ行政が主体的な役割を果たしていく必要がある。③策定中の土地利用構想の中で自然環境と調和のとれた土地利用の促進に努め、均衡のとれた地域振興を推進していく。④アクセス道路の整備など基本的な

インフラ整備が整っていない、現在の財政状況で対応できるか懸念があるが最善の努力を行政の立場として努める。

**Q** 市の財政状況の厳しさは承知している。知恵を絞り地域経済の発展のため積極的に取り組み活路を求め、農業や商工業者、市民の閉塞感を打開し明るい展望が開ける地域振興策の実施を検討願いたい。

**A** 市長 地域振興は拠点が必要で、成田との結びつきが強い松尾インター周辺の産業誘致に力を入れ、蓮沼の観光施設を通年型の拠点として整備、成東駅を中心とする機能を高め、山武地区は出光村の広大な土地を拠点と位置づけ、方策を講じていきたい。

**Q** 地域を豊かにして税収を増やすのは重要なことです。地域振興策を一体的一元的に取り組み調査、研究、立案やときにはセー

ルスもする地域振興のための政策集団、地域振興対策室のような部署を作る必要があると思う。全庁挙げて将来に向け地域振興のため取り組んでいく、そういった姿勢を是非市民に発信していただきたい。

**A** 市長 単に地域振興室を今の段階で作っただけでは動きが出るかと言うと、難しい面があります。全体の組織の在り方の中で提言を参考にしながら、考えさせていただきたい。

個人質問  
八角 公二 議員

●山武市の政策について

**Q** 現在、山武市では総合計画を策定中だが、どの程度まで進んでいるか。

**A** 市長 山武市が旧態依然たる自治体運営から、戦略的な自治体運営へと革新を図るために、現在、総合計画を作成している。平成20年2月の第4回総合計画審議会において、答申をいただき、3月の議会に上程する予定でいる。

**Q** 市のホームページには、素案として、6つ

の政策など、大変良い政策が揚げられているが、事業を実施するのに必要な「財源を確保するための政策」が反映できるか、お聞きしたい。

**A** 市長 財源については、税収を初めとしてあらかじめ見込まれるものからのスタートになると思う。市としても振興策に取り組み中で、独自の財源の確保に努めていきたい。

**Q** 緊縮財政の中で、財源を確保していくには、もっと具体的に、山武市の中に収入が入ってくるような施策を実施していただきたいが、いかがか。

**A** 市長 将来に向かっては、市の組織や予算を見直し、削れるところは削って、その事業に予算を回していきたい。実施計画及び決定までには、もう少し時間をいただきたい。

●行政運営について

**Q** 窓口業務の多い山武補助等の職員の増員もなく、

一向に改善が見られないが、どのようにお考えか。

**A** 市長 基本的なサービスについては、出張所に対応できる体制をとりながら、固定的経費削減からできるだけ本庁に集中していく方針でいる。

**Q** 窓口での職員の対応について、報告、連絡、相談という基本に沿って処理し、回答できるように徹底してほしい。また、頑張っている職員が報われる人事評価をしてほしいが、いかがか。

**A** 市長 人事評価制度については、できるだけ早く作っていきたい。職員の対応については、週1回以上のミーティングや職員研修等で指導していく。

個人質問  
藤 眞 議員

●後期高齢者医療制度について

**Q** 4月から75歳以上の高齢者は後期高齢者医療制度に加入し、基本的に全員が保険料を支払うことになる。新規に保険料負担